

春日井民商だより

N0.1287 2011. 8. 22

発行 春日井民主商工会

春日井市ことぶき町183

TEL 81-1482・FAX81-9756

全商連創立60周年めざして

9月末までに120部の商工新聞読者拡大に挑戦しよう!

民商の全国組織である全国商工団体連合会（全商連）が今年創立 60 年を迎えます。11 月 27 日(日)には、全国の民商の代表が集まって記念行事も開かれます。

全商連では、記念行事までに 30 万の商工新聞読者を達成しようと呼びかけています。愛商連（民商の県の連合会）はこの呼びかけにこたえて 9 月末までにそれぞれの民商の掲げている拡大目標の達成をめざしています。

春日井民商は120部の拡大に挑戦します

春日井民商は当初、60 部の商工新聞拡大を目標としていました。「創立 60 年にふさわしいとりくみにしよう」「いままでにやったことのないことにチャレンジしよう」「このとりくみの中でひとまわり強い組織を作ろう」と三役会、常任理事会、拡大推進委員会で議論を重ねて 9 月末までに 120 部の商工新聞拡大に挑戦することになりました。

春日井民商では以前に秋の運動で「100 部の拡大」を目標に超過達成した経験を持っています。今回の挑戦は文字通り「やったことのないこと」へのチャレンジです。

三役を先頭にしたとりくみがはじまっています 全会員の協力をお願いします

8 月の三役会以降、「三役がまず先頭に」と森山会長が 2 部、山崎会計が 2 部、小松拡大推進委員長が 1 部の成果を上げています。拡大について議論した東支部では役員会のあと、役員会の会場にしている喫茶店に商工新聞を取ってもらっています。

しかし、今回の目標は商工新聞拡大の 1 年分の目標を一月あまりでやりきろうというもので、役員や一部の会員だけでやり遂げられるものではありません。「全会員が 1 部の商工新聞拡大を！」をスローガンに全会員の力を合わせてやり遂げたいと思っています。皆さんのご協力をお願いします。

原水爆禁止世界大会に参加してきました

原水爆禁止 2011 年世界大会へは、春日井民商からは森山会長と太田事務局員が参加しました。

森山会長は、世界大会への参加は初めてで「世界中の大勢の参加者に驚いた。被爆者が『自分が被爆者だと結婚式や子どもが生まれるときに思い出す』と聞き自分が思っている以上に原爆の影響の大きさを実感した」と感想を述べています。

私は、大学生の時に 4 回世界大会へは参加しました。しかし、民商の事務局員として参加するのは、初めてなので、新鮮な気持ちでの参加でした。

2009 年の世界大会の時はオバマ米大統領の「米国には核兵器を実際に使った国として核兵器をなくしていく道義的責任がある」と国際的な場で発言し、「核兵器はなくなるのではないか!」と感じられる世界大会でした。しかし、今回の世界大会で一番印象に残ったのは、「アメリカをはじめ、核保有国では臨界核実験をまだ続けている」ということでした。

国際的には核兵器ゼロの方向へ確実に進み、国内外で平和市長会議へ参加する首長が毎年増え、非核都市宣言をしている自治体も 8 割を超えています。核兵器ゼロの外堀を埋めつつ、草の根で署名や宣伝活動を強め、「核と人類は共存できない」を多数派にし、ごく一部の利権に絡みつく勢力とたたかっていく必要があると思います。

まず、春日井民商としては「平和でこそ商売繁盛」が原発問題で明らかになっている中で、会員訪問や班会、小集会のときに原発の影響は商売にどう影響しているか?核兵器や戦争悲惨さについて話題のひとつになれば、そこから運動が作られていくのではないかと思います。(太田辰範記)



引き続き東日本大震災支援募金にご協力ください!



9月11日(日)は 班長研修会に参加しよう!

今年は学習協の吉田豊さんを講師に、「元気が出る」「商売に意欲が持てる」お話を午前、午後からは「秋の運動」のとりくみについて話し合う予定です。どなたでもご参加いただけます。多数ご参加ください

とき 9月11日(日)

午前10時～午後4時頃まで

ところ 総合体育館2階・中会議室
昼食を準備します。参加される方は最寄りの役員または事務所まで



15日までの会費集金にご協力をお願いします 会計 山崎 孝亀